

氏 名	森村 修 (教授、准教授、専任講師)
こんな研究をしています	・現代哲学（現象学・現代フランス哲学）：おもにフッサール現象学ならびにフーコー、ドゥルーズ、デリダを中心とした現代フランス哲学。 ・現代倫理学：「ケアの倫理」を中心とした応用倫理学 ・近代日本哲学：いわゆる「京都学派」を中心とした日本哲学 ・美学・芸術哲学：現代アートを中心としたアート／デザインの哲学・美学
こんな成果を挙げています	(1) 森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000年） (2) 森村修『ケアの形而上学』（大修館書店、2020年） (3) 森村修「「社会政治的トラウマの」の倫理」（牧野英二他編『哲学の変換と知の越境』所収、法政大学出版局、2019年） (4) 森村修「アマルティア・セン—自由と正義のアイデア」（榎木玲子/法政大学国際文化学部編『〈境界〉を生きる思想家たち』所収、法政大学出版局、2016年） (5) 森村修「西田幾多郎の「グラマトロジー」—〈書〉の美学=感性学〔エスティティクス〕の可能性」（東北大学哲学研究室編『思索』所収、2021年）
ほかに、こんなジャンルに関心をもっています	・ 現代哲学（現象学・ポスト構造主義など）／現代倫理学（応用倫理学も含む） ・ 日本哲学 ・ 芸術哲学・美学（アートの哲学思想など） ・ 社会哲学・政治哲学・経済哲学 ・ 医療／看護／ケアの倫理学 ・ 最近では、技術哲学（Philosophy of Technology）や、AI の倫理学／政治哲学にも関心がある
こんな授業を行っています	・ 2023 年度の国際文化学部のゼミ（演習）では、精神分析学（フロイトからラカンなど）を中心に「こころの哲学」に関わる思想を扱った。また大学院の授業では、日本哲学（九鬼周造の哲学）を中心に、日本哲学の主要テキストを取り上げた。 ・ 2024 年度は、サバティカル（国内研究）のため、学部・大学院の授業は休講。
学会や社会でこんな活動をしています	・ 2023 年度で、50 周年を迎える「比較思想学会」の理事として活動し、日本の宗教・哲学思想と西洋哲学・思想との比較哲学研究者の育成に関わっている。 ・ 様々な障がいを抱える人たちとその家族の方々の活動を、アート／デザイン活動に関係づけることを中心に活動している「アートミーツケア学会」に属し、障がいを持つ人たちが過ごしやすい社会を構築するために、哲学・美学・思想的な観点から活動をしている。 ・ 教員の研究活動その他については、以下を参照： https://researchmap.jp/osamu-morimura721
私が思う多文化的かつ、インターカルチュラルな人物	特に思いつきません。